

2020年10月15日開会 (通算94回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

それでこそロータリー

会長挨拶



こんにちは。

本日は、知立ロータリークラブより中川さんと加藤さんにお越し頂き有難う御座います。後ほど地区大会のPRをして頂けるということで宜しくお願い致します。また、卓話者の錦織さんより「M&Aについて」面白いお話が聞けるということで楽しみにしております。

さて、本日の会長四方山話ですが、先日Yahoo!ニュースで王子製紙のアイスホッケー部が本年度限りでクラブチームへと移行することを知りました。うちの息子がアイスホッケーをしている関係上で目についたのですが、このアイスホッケーが今非常に面白くなっているのご紹介できればと思います。

王子製紙が企業チームからクラブチームへの変更を決定したのですが、昨年日本製紙のアイスホッケー部が廃部となり、地元としては、アイスホッケーをなくすことは大変辛いということでクラブチームが立ち上がりました。

元々20年前に古川電工がアイスホッケー部を企業で維持することが難しいということで廃部になり、その時に立ち上がったのが日光アイスバックスというチームです。

アメリカでは4大スポーツと言われるメジャースポーツですが、日本ではスケートリンクがないといけないうことや防具などの費用がかかることからマイナーなスポーツとなっています。その為か、企業単体でチームを維持するのは中々難しいと言うのが現状で、今のアイスホッケー選手は、大学まで一生懸命やって、その後は普通にプロの道ではなく、就職してしまうそうです。なぜなら、事実上プロとして生活が成り立たないだからだそうで、マイナーなりの暗い事情があるようです。しかし、そんなマイナースポーツにも関わらず、昨年新しいチームが発足しました。慶応大学のアイスホッケー部が中心となって「横浜GRITS」というチームが発足しました。そのチームが今季からアジアホッケーリーグに参加しており、今までに無い盛り上がりを見せております。横浜GRITSは「デュアルキャリア」という考えのもと、一人一人が様々な企業で勤めながら、アイスホッケーでも一流、企業戦士としても一流を目指すという考え方を普及させる為に立ち上がりました。

横浜GRITSの目標は2030年のオリンピックに日本代表を出場させる事で、この「デュアルキャリア」をアイスホッケー界に限らず、様々なマイナースポーツにおいても定着させたいと考えているそうです。

今後のアイスホッケー会にも、是非とも注目して頂きたいと思います。つきましては、もし私の息子が将来ホッケー選手になった際には

皆様の企業へ、是非とも雇っていただけると助かります。
それでは本日もよろしく申し上げます。

幹事報告

- 本日の配布資料に愛知県警からの広報資料を含めております。ご一読願います。
- 10/27(火)15:30~@豊田商工会議所にて職業奉仕委員長会議が開催されます。出席予定者は細川委員長です。
- 本日の例会より、コロナウイルス感染防止対策として会場に空きがある場合は通常より広い当会場を利用して開催致します。
- 10/29(木)18:00~@名古屋城BBQパークにてIDMを開催致します。出欠回答期限は10/20です。ご回答お願い致します。
- 次回例会11/5(木)12:10~13:30@若宮の杜迎賓館です。例会前にクラブアッセンブリーがございます。

委員会報告

【出席委員会】

- ・出席率
(当日)
第94回例会(10/15)
29/46名 63%
(前回)
第93回例会(10/1)
当日出席率:34/46名 77.3%
修正出席率:46/46名 100%

・ニコボックス

知立ロータリークラブ

地区大会実行委員会 中川敦様 加藤久和様より

本日地区大会のPRでおじゃま致しました。どうぞよろしくお願い致します。

加藤謙一より

9月24日カナザワユカちゃんとうちの次男の誕生日でした。

そして、ユカちゃん誕生日当日の婚約オメデトウ!!

高橋勝之より

本日妻の(うん)才の誕生日です。

不破直行より

23日が長男かなとの誕生日です。小さい時はやんちゃ坊で周りの人には迷惑をかけてばかりでしたが、すっかり落ち着きました。誕生日おめでとう。

高木勝より

久しぶりの例会出席です。

金子彰宏より

よろしくお願い致します。

牧野敬充より

久しぶりの昼の例会楽しみです。

酒井俊皓より

久しぶりです。

大野将義、河村直樹、佐野洋一郎、高木俊郎、田中吉彦、出口茂、真城建治、水野紀孝、山邊信之より

第94回例会を祝して

【ロータリー情報委員会】

ロータリーの友10月号おすすめページ

P13~「毎年10月は米山月間です」

今までの米山奨学金のあゆみ、親善大使のご紹介がある為、是非ご一読ください。

P33～「エバンストン便り」

アフリカ地域の野生株ポリオウイルス根絶が宣言されたそうです。

ご存知のとおり、ポリオの撲滅に取り組んでいる最中ですが、8月25日にアフリカ地域の全47ヵ国で野生株ポリオウイルスの広がりが断ち切られたということです。1996年にはポリオによる小児麻痺の方が7万5千人いたのですが、現在、ウイルスが検知されていないそうです。残るはアフガニスタンとパキスタンの2ヶ国で、引き続き撲滅について重要な役割を担っていきたいとのこと。私にとっても小児麻痺は小説の世界で、実感がありませんが、こう広く世界を見渡すとまだ苦しんでいる方がいる現状があります。今後も広く視野を持って何か支援ができればいいなと思います。

【会員増強委員会】

昨年ロータリー情報委員会のこの友の紹介で「「パズルdeロータリーでモバイルバッテリーをゲットする」と発表させて頂いたのですが、ゲットしました。

今年はけん玉だそうです。今年もチャレンジしようと思います！

本題ですが、高橋会長よりチャレンジ60ということで当クラブを60人にしようという意思の元動いております。現状48人です。残り8ヶ月で12人純増が必要となっております。

本日も皆様のお手元に【ご紹介候補者リスト】を配布させて頂きました。

現状まだ10名程しかご提出頂けておりません。

まずは本紙をご提出いただくことから始まると思います。

昨年、ロータリー情報で有言実行したので、今年も会員増強で有言実行したいなと思っております。マスト60でやりたいと思っておりますので、みなさん是非ご協力お願い致します。

【米山記念奨学委員会】

9月24日に米山記念奨学委員長会議に参加してきました。

私自身米山記念奨学と青少年奉仕の区別がついていない状況での参加でした。

米山奨学会について…

日本に在留する外国人留学生に対して、全国のロータリアンの寄付金を財源として支援しております。将来、日本と世界結ぶ懸け橋となって国際ロータリーで活躍し、ロータリーが目指す平和と国際理解の推進を指名としております。

・当クラブの寄付について

計224,000円 6月30日現在

(内訳)

毎年4,000円/人=174,000円

特別寄付50,000円

・2020年度 奨学生 883人

・19-20年度寄付金収入 13億3632万円

今年も2760地区では50名の奨学生を受け入れる予定。

会議に参加をして奨学生と学友の皆さんと少し交流し、改めて奨学生の皆さんに寄与する大切さを実感しました。奉仕団体として素晴らしい活動をしていることを知れた機会となりました。本日豆辞典も配布しておりますので是非ご覧ください。



その他

卓話:M&Aについて

株式会社マオリ・株式会社KnowHows 代表取締役 錦織 康之 様



皆様初めまして、ご紹介預かりました。錦織(にしこおり)と申します。

私は大学を卒業して、ソフトバンクに入社し、経営戦略室部門に在籍し、その後、数社のM&A・合併を担当し、9年前にM&A(企業買収)・IPO(会社上場)のコンサルタントとして独立して、最近KnowHowsという会社を立ち上げました。

今日はM&Aについてお話しさせていただきます。

まず、M&A業界ですが、異常な点がいくつかあります。まずは年収です。

上場企業の生涯年収ランキングで見ますと年収が多いと見られる銀行・商社などの有名企業を、はねのけて、上位5社の中で4社がM&Aアドバイザーの企業となります。

次に仲介型と呼ばれる形態です。M&Aには売り手と買い手のどちらも担当するMAアドバイザーという形態と、売り手が買い手のどちらかの担当する片務型のFAアドバイザーという形態です。MAアドバイザーは売り手・買い手どちらとも味方になる必要があるので、本当のところはMAアドバイザーに主導権が移る形態であり、私個人としては利益相反になり正しい形とは言えないと思います。他の先進国を見る限りではM&Aでこのような形態を珍しく禁止している国すらあります。

その結果、M&Aがうまくいっていないと感じる確率は64%となっているのが現状であります。それに関わらず、M&Aアドバイザーの年収は3,000万、離職率はわずか1.5%となっています。

といて、M&Aは必要ないのではという結論になるのではなく、会社の悩み(ヒト・モノ・カネ)を解決するのに一番の近道はM&Aが一番だと考えています。

M&Aと一言で言いますが、その形態には増資・株式譲渡・事業譲渡・合併・分割・合併といくつかの形態があり、今あげた形態もまたいくつかの手法に分かれ、多岐にわたります。

ここで、私の周りで起こった買収の失敗事例をあげさせていただきます。例えばDD(デューデリジェンス)で発見できなかった簿外債務があった、残高証明が偽造されていた。キーマンの裏切り、反社の存在の見落としなどがありますが、これもM&Aのステップにおいて何らかの見落としがあったためといえます。M&Aを成功させるためには無限にあるリスクをどれだけ低減できるかに尽きるのだと考えています。

現在のコロナ渦でなにが起こっているか、倒産危険企業は60%に及び、休業者の増加、大学生についても休学検討、退学検討が増加し、完全失業者についても増加傾向にあります。

コロナ渦以前より言われているのが、将来の事業数の減少、これから10年間で650万人の雇用・22兆円のGDPが失われる。コロナが発生したことで、この数字はもっと増加すると予測できます。日本を強くするのは事業の規模でなく、事業の数を減少させないこと、維持して、増加させることと仮定し、前述した今のM&A業界に頼らないM&Aの確立、そのためには今いる多くの弁護士・公認会計士・司法書士・税理士といった専門家がM&Aという分野に誰もが参入できるプラットフォームを立ち上げ邁進しています。そのような活動が事業の数の減少の歯止め、維持、そして増加と将来の日本を強くできる一助となりたいと考えています。

地区大会PR

知立ロータリークラブ 中川敦様、加藤久和様



2020-21年度 地区大会

(詳細は↑をクリック)

2021年3月14日(日) 13時00分～18時40分

@愛知県国際展示場